



「ならコレ」について

2017年2月5日開催の「第2回地域包括ケアシステム構築推進シンポジウム」のサブタイトル「ならはコミュニティコレクション」の愛称が、ならコレです。ならはの「これから」という、町の将来を展望する意味も含まれています。

ならコレのテーマは、「これからも、ならは。ずっと、ならは。いくつになっても生き生き暮らしたい」。

そのために、私たちは何をすべきか、何ができるのか。住民同士の交流や支え合いの事例発表のほか、パネルディスカッションなどを通じて考える催しです。

楢葉町への住民帰還状況

東京電力福島第1原発事故に伴う避難指示解除準備区域の指定が2015年9月5日に解除され、以降、住民の帰還が徐々に進んでいます。17年1月4日現在の町のまとめによると、町内帰還者（週4日以上滞在者・防犯パトロール隊および町内居住者確認による状況確認）は419世帯767人。このうち65歳以上は413人で53・8%を占めます。町全体（住民基本台帳データ）の世帯数・人口は2819世帯7282人（17年1月1日時点）。帰還率は人口ベースで10・4%で、15年10月の集計開始以来一貫して増加傾向をたどっています。

まじわる・つながる・支え合う

ならは生活の達人

—このまちで一緒に暮らしていくために—

発行日 2017年2月5日
発行 楢葉町役場(住民福祉課) 電話 0240-23-6102
取材 特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター
編集協力 (=CLC、本部・宮城県仙台市) 電話 022-727-8730
デザイン 東北紙工株式会社
印刷